

平成30年10月3日(水)

磐城高校までの八幡小路のたたずまい

9月8日、9日に恒例の八幡神社大祭が行われ、流鏝馬が走りました。八幡小路を歩きますと、遠くに水石山の風景が広がり、心洗われます。天高く馬肥ゆる秋ですね。

天高く馬肥ゆる秋とは、秋の快適な気候のこと。

秋は空気も澄んでいて、空も高く感じられ、馬も肥えるような収穫の季節でもある。

秋の季節の素晴らしさをいう句で、多く手紙などで時節の挨拶として用いられる。

「肥ゆる」は文語動詞「肥ゆ」の連体形。

杜審言の詩『蘇味道に贈る』に「雲浄くして妖星落ち、秋高くして塞馬肥ゆ」とあるのに基づく。

昔、中国では、北方の騎馬民族の匈奴が収穫の秋になると大挙して略奪にやってきたので、前漢の趙充国はそれを見抜き、「馬が肥ゆる秋には必ず事変が起きる、今年もその季節がやってきた」と、警戒の言葉として言った。

しかし匈奴が滅びた後は、現在の意味で使われるようになった。

「天高くして馬肥ゆる秋」「天高く馬肥ゆ」ともいう。

